



# 朝一小だより

活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和5年10月2日

児童数 583名



## 同じ時を過ごす意味

校長 金子 二郎

「災害級の猛暑」と形容された今年の暑さも、やっと峠を越したようです。「塾帰り空のスクリーン茜色そっとスマホをリュックに入れる」。これは横浜市の中学3年生が詠んだ第36回東洋大学「現代学生百人一首」入選作品ですが、鮮やかな夕暮れの空や朝晩にそよぐ風、ふとした時に耳に届く虫の音など、少しずつ秋の訪れを感じることができるようになりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。十月を迎えますが、学校行事や学年行事が最も充実するのがこの2学期です。引き続き本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



さて、今年度も運動会を開催することができました。当日、急遽プログラムを入れ替えることとなりご迷惑をおかけしましたが、お越しいただいた皆様には、短い時間の中で努力を積み重ねた成果も含め、児童が活躍する姿をご覧いただきました。子供も大人も協力し合い運動会を創り上げることができました。頑張ったのは児童だけではありません。ご家庭では常に熱中症や感染症を意識しお子様の健康管理に気を配る一方、体育着の洗濯や必要な道具の準備をしていただきました。当日は早朝より本部役員をはじめ多くの方が準備を進めてくださり、終了後も本当に多くの皆様に片付けにご協力いただきました。遡って9月2日には残暑の中、保護者やご家族、各関係団体の皆様に校庭清掃をお願いし、運動会に相応しい会場にさせていただきました。人と人は同じ場で実際に様々な経験を通して多くを手にし、成長することができます。先日、歌手の星野源さんがラジオの対談でブレイク前の自分を振り返り次のように話されていました。『これが好きだ』と思った時、今は割とすぐシェアできるしハッシュ



タグとかで同じものが好きな人がすぐ見つかる。その頃は見つからなくてすごく孤独で寂しかったけど、一人で『好き』を培養している時にはすごく楽しかった。昔は『何か馬鹿にされている気がする』って感じが割と街や身の周りとか、実際の目の前の人とかにあったけど、今は『画面』の中にある。スマートフォンとかSNSで『いいね』とかフォロワー数といった『数字』で人との差が出てくる。

昔も厳しかったけど今はもっと冷酷で、数字で出ると思うとすごくつらいだろうなと感じる。LINEとかもクラスとかでグループを組んだ時に入らない子が出てくる。昔は何となくはぶられているという感覚だったのが、今は明確にはぶられるというのがとてもつらいだろうなと感じる。昔のように何となくフワフワとは居られない。」私達が子供だった頃には想像できなかったネットいじめやネットトラブルから、大切な子供たちを守ることは大人の責務です。そのためにも相手を気遣い、まわりの皆で直接子供に関わることで、多くの大人が互いに手を携え一人一人を育むことができればと願っています。



私たちは皆、互いに助け合いたいと思っている。人間とはそういうものだ。相手の不幸ではなく、お互いの幸福によって生きたいのだ。(チャールズ・チャップリン)